

《基本理念》医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2017. 1~2

TORANOMON
VOL. 156

とらのもん

URL : <http://www.toranomon.gr.jp>



日本医療機能評価機構

本 院
公開講座

たんすい

『内視鏡で診る胆膵疾患 ~診断から治療まで~』

日時：2017年1月21日（土）14：00~15：30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）

講師：消化器内科 医長 小山里香子

本院治験
公開講座

日時：2017年3月11日（土）14：00~15：30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）

講師：肝臓内科 部長 池田 健次

※ 上記の公開講座は、諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

【本院 中央採血室からのお知らせ】

現在、中央採血室がたいへん混雑して御迷惑をおかけしております。

午後の2時以降が比較的空いています。主治医とご相談の上、可能な場合は午後の採血をお勧めいたします。

今月の特集

- 新年のご挨拶（院長）
- 新年のご挨拶（分院長）
- 本院 公開講座
『内視鏡で診る胆膵疾患
〜診断から治療まで〜』
- 連携医療機関のご紹介
〜赤坂三浦クリニック〜
- 山口徹顧問（前院長）より
人間ドックの割引



『 本年もよろしくお祝い申し上げます 』

新年のご挨拶

院長 大内 尉義

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

昨年はイギリスのEU離脱方針の決定、アメリカの大統領選挙、中東やアフリカにおける紛争の拡大などがあり、またわが国におきましても、熊本地震や連続した台風被害など、国内外ともに一昨年に増して騒然とした一年でした。一方、東京工業大学の大隅良典栄誉教授が、オートファジーという、細胞の中で不要となった蛋白質のリサイクル機構を発見してノーベル医学・生理学賞を受賞されましたし、上野の国立西洋美術館の世界遺産決定や北海道新幹線の開通など、明るいニュースも多い年でした。地震や台風で被害を受けた地域の早い復興を祈念するとともに、本年も皆様方にとって、またわが国にとって良い一年になりますようお願いしております。

さて、虎の門病院の新病院建築計画ですが、昨年6月1日の起工式のあと工事が始まり、順調に進んでおります。今はまだ基礎工事の段階で、地上に建物が姿を現すのは今年末頃になりそうですが、地上19F建て、総延べ床面積約85,000平米という、わが国でも有数の大きな病院の完成（平成31年3月の予定）が待たれます。建設現場は白いフェンスで囲われていますが、昨年秋、消防会館前側のフェンスに、「Toranomon Hospital History（虎の門病院—その歴史）」と題して、病院開設当時から現在までの数々の写真、新病院のイラストなどが描かれ、道行く人々の注目を集めています。まだご覧になっていない方がおられましたら、ご来院の折に是非ご覧いただければ、と思います。新病院の工事に伴いご不便をおかけしないように、万全の注意を払っておりますが、万一そのようなことがありましたら、なにとぞご理解いただければ幸いに存じます。

今年の虎の門病院のもう一つのイベントは、アメリカ大使館前に「赤坂インターシティAIR」と名付けられた新しいビルが完成し、このビルの5Fに健康管理センターが移転することです。現在、健康管理センターは虎ノ門駅直結のビルの中、4フロアで運用されて

おり、動線が複雑なため、受診される方々にややもすればご不便をおかけしておりますが、新しいところでは1フロアにすべてが納まりますので、より快適に受診して頂けるとおもいます。オープンは10月の予定です。ぜひ、ご期待ください。



虎の門病院は、今年も引き続き、最高の医療を安全に皆様方のもとにお届けすべく、分院と手を携えて努力を重ねてまいります。また、職員の接遇教育にも力を入れ、来院される方々に気持ちよく診療を受けて頂けるように努めてまいりたいと存じます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



<新病院 フェンス「Toranomon Hospital History」>

新年のご挨拶

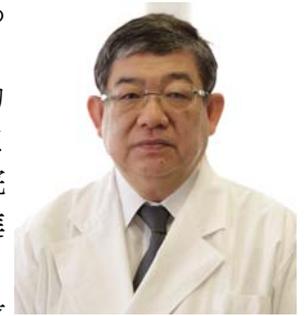
分院長 熊田 博光

2017年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年の9月22日は、虎の門病院分院開院50周年でした。昭和41年にこの梶ヶ谷の地で産声をあげました。開設当初の様子は管理棟通路に航空写真を展示しておりますが、まだまだ空地が多く東急田園都市線も溝ノ口駅までしか開通していませんでした。開院当初は、本院からの患者さんの受け入れがメインの病院で、設立当時から国内初の腎透析を開始した腎センターや精神科、神経内科、胃腸科、肝臓科、呼吸器科、内分泌科など長きにわたり療養が必要となる慢性疾患を中心に治療を行ってきました。平成17年より地元の高津区・宮前区域で医療活動のサポートを行うようになり内科総合診療科を設置しその後、血液内科・循環器科も加わりました。平成18年から医療連携部の設立とともに地元の患者さんの受け入れも行うこととなり、その後医療の変遷に伴い現在では急性期病院としての役割も担っています。循環器科では、狭心症、心筋こうそく、心不全など心疾患治療やカテーテル検査も積極的に行っています。

回復期リハビリテーションは、脳出血、脳こうそくなどの脳血管疾患、骨折など骨関節疾患、神経疾患など発症から2ヵ月以内の患者さんに家庭復帰、社会復帰を目指して365日リハビリテーションを行っています。平成28年9月現在の診療科は、肝臓内科・神経内科・リハビリテーション科・麻酔科・外科・感染症部・腎センター・消化器・糖尿病/代謝・呼吸器・血液内科・循環器・放射線診断科・精神科・整形外科・歯科の16科となっています。その他に全国に先駆けて発祥した分院における独特のシステムで医師の検査オーダーなどをサポートするドクターエイド部などが設立されてきました。平成28年10月には、第8回高津区・宮前区医療連携懇親会を開催し地元の先生方との交流も順調に進んでいます。今年も益々地元地域に根付いた病院でありたいと願っております。

本院新病棟の完成まであと2.5年ほどとなり東京オリンピック開催時には、協力病院として登録されています。虎の門病院本院と分院が一体となり医学への精進と貢献、献身と奉仕を旨とし、その時代になしうる最良の医療をご提供できますように本年も鋭意精進いたします。



今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



<開院当時の様子>



<虎の門病院分院>

内視鏡で診る胆膵疾患 ～診断から治療まで～

消化器内科（肝胆膵）医長 小山 里香子

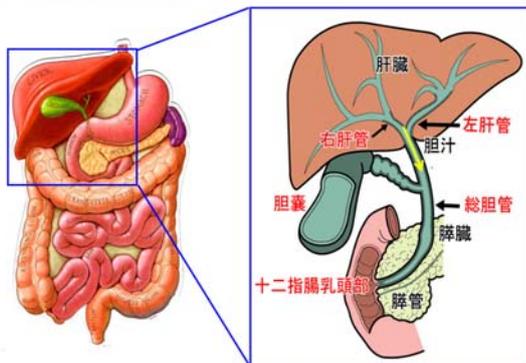
1. はじめに

近年、胆膵領域では、内視鏡・処置具の開発や内視鏡手技が大きく進歩したことにより、以前は外科的手術や身体の表面から針を刺して行ってきた処置を内視鏡的に行えるようになってきました。お腹に傷をつけずに診断や治療を行う内視鏡処置は、今までの処置と比べて患者さんの苦痛が少ないばかりか、入院期間の短縮・早期退院につながるメリットもあります。今回の講座では、現在の胆膵領域における内視鏡診断、治療の進歩についてお話しします。

2. 胆膵領域とは？

胆膵とは胆道・膵臓を指します。胆道とは肝臓から分泌された胆汁が十二指腸に排出されるまでの通り道で、胆管・胆嚢・十二指腸乳頭部がこれに含まれます（図1）。胆管の長さは約10～15cm、太さは0.5～1cmです。胆嚢は胆汁を一時的に貯めて濃縮するナスのような形をした袋状の臓器で、長さは7～10cm、幅3～10cm位です。

図1:胆道・膵臓の位置



食物が十二指腸に到達すると十二指腸からコレシストキニンというホルモンが分泌され、胆嚢を収縮させて貯めていた胆汁を十二指腸へと排泄し、消化吸収の助けをします。胆汁は肝臓から1日あたり500～800ml分泌されます。消化酵素は含まれていませんが、十二指腸で膵臓から分泌される膵液と混ざることにより膵液のもつ消化酵素を活発にして、脂肪やタンパク質の分解を助ける役割をしています。この胆道が何らかの原因で通過障害を来すと、胆汁が血液の中に逆流して黄疸が起こります。黄疸は皮膚や眼球結膜（白眼の部分）が黄色くなるのが有名ですが、徐々に黄色くなる場合には毎日顔を合わせているご家族やご自身ではちょっとした変化に気づきにくいことがあります。その場合一番わかりやすいのが尿の濃

消化器内科（肝胆膵）医長

小山 里香子 平成11年卒



《専門分野》

胆道・膵臓の内視鏡診断・治療
胆道・膵臓のインターベンション治療
肝・胆・膵疾患 腹部の超音波診断

《資格・所属学会等》

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・関東支部評議員
日本超音波医学会 超音波専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

染（ウーロン茶やコーラのような濃い色の尿）です。毎回ご自分の尿の色をみる習慣をつけることが早期の変化を見逃さないチャンスとなります。膵臓はみぞおちの背中側に位置し、長さは約15cm、厚さは約2cmの細長いバナナのような形をした臓器です。消化酵素を分泌する外分泌機能と血糖コントロールに必要なホルモンを分泌する内分泌機能の両方を併せ持っています。

3. 胆膵領域の病気と検査

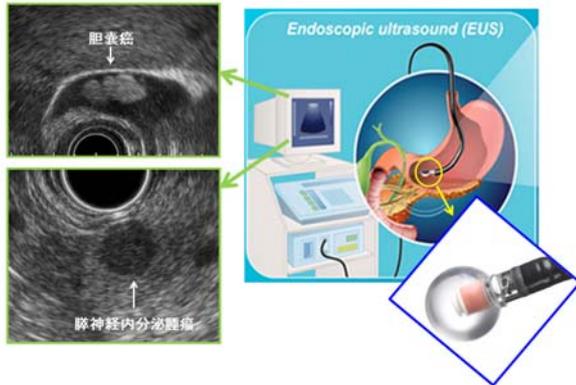
胆道の病気の代表的なものとしては、胆嚢結石、総胆管結石、急性胆嚢炎、胆嚢ポリープ、胆嚢がん、胆管がんなど、膵臓の病気では急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵嚢胞、膵臓がんなどが挙げられます。このような病気を診断するために必要な検査としては血液検査や腹部超音波（エコー）検査、造影CT、MRIなどの画像検査がありますが、これら以外に近年は内視鏡を使った検査ならびに治療も大きく進歩してきました。胆膵領域で行われる内視鏡手技としては主に、①超音波内視鏡（EUS）と②内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）があります。

4. 超音波内視鏡(EUS)

内視鏡の先端に超音波装置がついているもので、胃・十二指腸など消化管のなかから精密な検査ができます。通常の体表からの超音波検査では腹壁・脂肪や消化管内のガスで奥深い部分が観察しづらい場合がありますが、胆道や膵臓に隣接する消化管内からみることで、より鮮明で詳細な超音波像を描出することが可能となります。図2の左上はポリープ型早期胆嚢がん、左下は径8mm

大の膵神経内分泌腫瘍ですが、いずれも小さな病変でもきれいに描出できているのがわかると思います。ただし、通常の内視鏡検査よりは検査時間がかかる（20分前後）ため、鎮静剤の注射をして眠ったような状態で検査を受けていただきます。当院では年間400件をこえるEUSを施行していますが、その6割ほどは外来で施行しています。

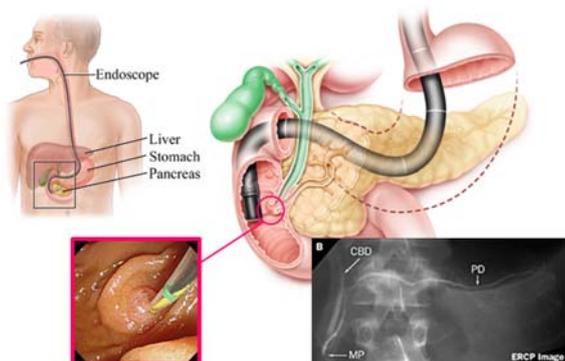
図2: 超音波内視鏡(EUS)



5. 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)

口から食道・胃を通過して十二指腸まで内視鏡を挿入し、胆管・膵管の開口部である十二指腸乳頭部から胆管や膵管の中に選択的に細いチューブを挿入して造影剤を注入し、レントゲン撮影を行う検査です(図3)。当院では年間450件程のERCP関連手技を施行していますが、単なる造影検査だけでなく治療を中心に施行される場合が殆どです。膵炎や出血などのリスクを伴う手技のため、安全管理上、全例入院で施行しています。

図3: 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)

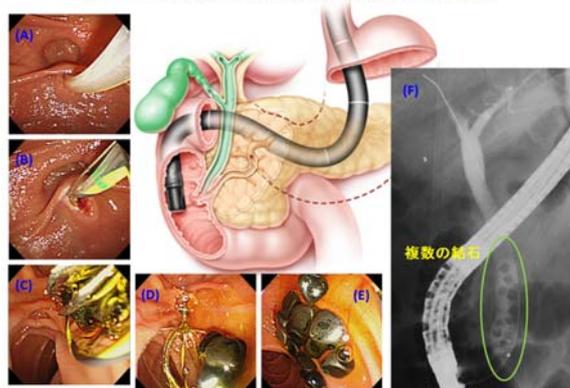


胆嚢結石症の約10%は胆嚢から胆管に胆石が落ちて総胆管結石を合併します。この総胆管結石に対しては、外科で開腹での手術ですと、手術でお腹に入れたチューブを抜くのに1ヶ月程かかります。したがって現在では、胆嚢結石は外科で腹腔鏡下の胆嚢摘出術を施行し、総胆管結石は内科でERCP手技を用いて胆管内から除去しています(図4)。十二指腸乳頭部から細いチューブを胆管内に挿入し(A)、ガイドワイヤーを胆管内に留置したあと造影剤を注入してレントゲン撮影を行うと総胆管結石が描出できます(F)。ガイド

ワイヤーに沿わせた特殊な電気メスで乳頭を切開して広げ(B)、バスケットのような処置具で胆管内にある結石をつかんで胆管内から十二指腸内に引っ張り出し(C)、十二指腸内にすててきます(D、E)。この結石はやがて便と一緒に排出されます。合併症がなければ翌日から食事を再開し、早ければ数日で退院が可能です。

また胆管が悪性腫瘍(がん)によって狭窄し黄疸をきたした症例に対しては、このERCP手技を用いて、胆管の狭窄部分にプラスチックや金属製のステントを挿入して胆汁の流れをよくする(黄疸をとる)処置なども行うことが可能です。従来は胆管狭窄に対しては腹部超音波をあてながら身体表面から針を刺し、肝臓を介して拡張した胆管内にチューブを入れる処置を施行していました。この場合には、最低でも2週間は入院管理のもとチューブの位置がずれないか見守る必要があります。しかし内視鏡治療の場合は合併症がなければ処置の翌日から食事を再開し、数日で退院することも可能です。

図4: 内視鏡的総胆管結石除去術



6. さいごに

患者さんの状態によって全員が内視鏡処置可能というわけではありません。胃の手術後で特別な消化管の再建法(繋ぎかた)をした方や十二指腸が病気で狭窄していて内視鏡自体が十二指腸乳頭部まで到達できない場合などは、上記のような内視鏡手技は困難な場合があります。最適な検査・治療法については相談のうえ、行っていきます。

～詳しくは公開講座へ～
虎の門病院 本院公開講座

どなたでも(虎の門病院を受診していない方でも)ご参加いただけます。
申込み不要・入場無料・本館3階講堂にて
皆さまのご参加をお待ちしております。

虎の門病院 公開講座

検索



院長 ご挨拶

このたび10月1日に溜池山王駅徒歩1分の場所に、「赤坂三浦クリニック」を開院致しました。虎の門病院には外科後期研修医として入職し、乳腺・内分泌外科医員、医長、部長として約25年にわたり勤務して参りました。自分の興味のある分野で、仕事が継続できたのも、病院関係者および多くの患者さんのご指導、ご支援があったの賜物だと心より感謝しております。これまで乳がんの診断・治療、甲状腺、副甲状腺疾患の診断・治療を主な2本柱として臨床そして研究にも力をそそいで参りました。今後はこれまでの技術、知識、そして経験を生かして、虎の門病院とも連携をとりつつ赤坂およびその近隣地域の多くの皆様方のお役に立てるように、より一層の医療サービスを提供していく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

●ドクター紹介

院長 三浦 大周 (みうら だいしゅう)



<経歴>

1990年：日本医科大学卒業
 日赤医療センター外科研修
 虎の門病院後期外科研修
 虎の門病院 乳腺・内分泌外科医員
 米カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) 留学
 2007年：虎の門病院乳腺・内分泌外科医長
 2010年：虎の門病院乳腺・内分泌外科部長

<専門医・認定医>

- ・日本外科学会 専門医・指導医
- ・日本乳癌学会 専門医・評議員
- ・日本内分泌外科学会 専門医・評議員
- ・日本甲状腺外科学会 専門医・評議員
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・日本癌治療認定医

【診療科目】

甲状腺・副甲状腺・乳腺・外科・骨粗鬆症・乳がん検診

【院内写真】



(受付)



(待合室)



(診察室)



(マンモグラフィー)

【診療時間】 ご予約お待ちしております。

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:30~13:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:30~19:00 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | — |

※ 受付時間は診療終了時間の30分前までとなります。

【休診日】 日曜・祝日

【アクセス】



赤坂三浦クリニック

- 〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-15 第2堀内ビル2階
- 電話 03-3560-6008
- URL <http://akasakamiura-clinic.com>

シェーン、駅馬車そしてブライスカニオン

虎の門病院 顧問(前院長) 山口 徹

夏休みにアメリカの国立公園を巡るツアーに参加した。アメリカの国立公園と言えばイエローストーン、ヨセミテ、グランドキャニオンなどが有名であるが、このツアーで目にとまったものがあった。グランドティートン国立公園とモニュメントバレーである。西部劇の「シェーン」と「駅馬車」の舞台だからである。

団塊世代の少年時代、少ない娯楽の中で強く記憶に残っているものの1つは西部劇映画であろう。海外旅行が自由になったのは昭和39年だから、外国の話には専ら映画、テレビを通じてしか接することが出来なかったからだ。昭和30年代が西部劇の全盛期だったようで、私の記憶に強く残っているのがジョン・ウエインの「駅馬車」とアラン・ラッドの「シェーン」である。

「シェーン」は昭和28年に公開され、主題曲「遙かなる山の呼び声」と共に強く魅せられた西部劇であった。しかし「駅馬車」は、調べてみると制作は昭和14年、日本での公開は翌年、即ち戦前であった。「シェーン」より古いので白黒映画なのだろうと思っていたが、ニュープリントによる映画館でのリバイバル上映は昭和48年ということなので、子供の時に見たのはテレビで放映されたものだったのだろう。ともかくあの舞台を見に行くのだからと、「シェーン」と「駅馬車」のDVDを「TSUTAYA」で借りて予習をし、勇んでツアーに出掛けたのだ。

ワイオミング州西部、ティートン連峰はすばらしかった。4000mを越えるグランドティートン山を始め3600mを越える山が12あり、荒々しい山々にはいくつかの氷河も残っている。山の麓で相互につながった一連の湖に囲まれ、山と湖、森が見事に調和した、「シェーン」を越える絶景の世界がそこにあった。「シェーン」に出てきた小屋は火事でなくなったようだが、西部開拓時代に入植したモルモン教徒の小屋の傍に立つと、平原の向こうに地表から一気にそびえ立つティートン連峰と向かい合うことになる。ここに立って、ジョーイ少年を真似て「シェーン！カムバック！」と叫ばないでいることは難しい(写真左上)。

一転してユタ州のモニュメントバレーは、コロラド台地が侵蝕、風化され、メサといわれる

テーブル形の台地や、さらに浸食が進んだ岩山ビュートが形成され、記念碑(モニュメント)が点在するような景観からこの名がついたという。ここは元々ナバホ族の聖地であり、また現在も独立国家ナバホ国の中にあるが、「駅馬車」のジョン・フォード監督が西部劇の舞台としてここを選び、多くの作品を撮ったことで有名になった。監督が好んだモニュメントバレーを一望できる場所はジョン・フォードポイントとしてよく知られている(写真右上)。ビュートが点在する平原を遠望して西部劇しか思い浮かばないのは年寄りだけなのであろうか。

しかし、今回のツアーで最も強烈な印象を受けたのはユタ州のブライスカニオンであった。高原となった堆積岩が侵蝕され「土柱」と呼ばれる独特の柱構造が残って出来たもので、川によって浸食されて出来た溪谷(キャニオン)ではなく、自然が創り出した円形劇場(アンフィテートルム)である(写真下左)。削り出された脆い土柱のピンク色は酸化鉄とマンガンによるものだという。最も深いところで240mの深さがあり、このような劇場が30km以上続いているという。我々も劇場の底に降り立ったが、見上げる自然が創り出した作品は正に自然の芸術であったが(写真下右)、この劇場をいつまで楽しめるのか、そんな不安もよぎる奇景であった。



ティートンの山々



モニュメントバレー



ブライスカニオンの奇景

☆☆人間ドックの割引☆☆

今年も2017年2月より、期間限定で人間ドックの割引をいたします。

☆季節割引

3,240円引き

(季節割引料金：税込)

対象受診期間：2017年2月1日～5月31日
 対象者：人間ドック（胃バリウム/胃内視鏡/胃検査無）コース受診者
 料金：通常のコース料金より3,240円（税込）引き
 ※ オプション検査は割引対象外です。

| コース名 | 通常料金 | 割引後料金 |
|-------|---------|---------|
| 胃バリウム | 70,200円 | 66,960円 |
| 胃内視鏡 | 73,440円 | 70,200円 |
| 胃検査無 | 52,920円 | 49,680円 |

☆インターネット予約ペア割引

インターネット予約限定
10%引き

(ペア割引料金：税込)

お二人そろえば、もっとお得。
 ご夫婦・ご兄弟・ご友人等どなたとでもどうぞ。

対象受診期間：2017年2月1日～4月28日
 対象者：インターネットから「2名様同時予約」でご予約された
 人間ドック（胃バリウム/胃内視鏡/胃検査無）コース受診者
 料金：通常のコース料金より10%引き

| コース名 | 通常料金 | 割引後料金 |
|-------|---------|---------|
| 胃バリウム | 70,200円 | 63,180円 |
| 胃内視鏡 | 73,440円 | 66,096円 |
| 胃検査無 | 52,920円 | 47,628円 |

- ※ お二人同日受診が条件です。
 - ※ キャンセル・変更等で同日受診でなくなった場合は、季節割引料金の適用となります。
 - ※ 共済組合員・ご契約団体の方は対象外です。その他各健保組合の割引助成制度との併用は出来ません。
 - ※ オプション検査は割引対象外です。
 - ※ 先着順で予約がいっぱいになり次第終了とさせていただきます。
 - ※ インターネットで3名様お申込みの場合は2名様「ペア割引」、1名様「季節割引」になります。
- なお、ペア割引は例年より1ヵ月早い4月末までとなっておりますので、5月は季節割引のみとなります。

☆人間ドックのお申し込みは、こちらへ！！

健康管理センター・画像診断センター

TEL：03-3560-7777（平日11:00～16:30）
 インターネット：<http://www.toranomon-dock.jp/>



虎の門 ドック 検索

スマートフォンからも予約できます！

病院内窓口

本院：本館1階 総合相談センター内 人間ドック申込窓口
 分院：外来棟1階 分院医事課



*健康管理センター・画像診断センター受付は、銀座線虎ノ門駅C3出口直結、清和ビル8Fにあります。

がん相談窓口（がん相談支援センター）のご案内

- 相談時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00
 *土・日・祝日・年末年始・開院記念日(5/20)を除く
- 場所 虎の門病院本院 本館1階総合相談センター内
- 相談料 無料
- 対象 がんの患者さん・ご家族等
- 相談方法 電話相談・面接相談（面接相談 要予約）

相談電話番号・お問い合わせ先 03-3588-1171

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制、紹介状必要）

（料金）30分：21,600円（延長15分毎：10,800円追加）

（担当）本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141